

公開シンポジウム

高齢社会論の最前線

世界の少子化・長寿化の最先端を行く日本では、65歳以上が2010年には人口の23%を占めており、その比率は今後ますます上昇すると考えられます。医療・福祉ばかりでなく、経済・産業・文化など多方面の分野と相互に関連する社会全体の問題として考えていくことが求められています。既に持続可能な高齢社会の実現を求める取組は始まっていますが、その現状と将来を多角的視野で捉え展望します。

時：平成24年9月29日（土） 13:30～17:30

於：日本学術会議講堂

大沢 真理（日本学術会議第1部副部長、東京大学教授） 問題提起

岩本 康志（日本学術会議第1部会員、東京大学教授）

「少子高齢化社会における社会保障の財源問題」

落合 恵美子（日本学術会議第1部会員、京都大学教授）

「高齢者のケアと家族—アジア的コンテクストで考える」

樋口 美雄（日本学術会議第1部会員、慶應義塾大学教授）

「高齢化社会における雇用問題」

大島 伸一（日本学術会議第2部会員、独立行政法人国立長寿医療研究センター総長）

「超高齢社会と医療」

司会： 杉原 薫（日本学術会議第1部会員、東京大学教授）

開会挨拶：山本 眞鳥（日本学術会議第1部会員、法政大学教授）

閉会挨拶：広渡 清吾（日本学術会議前会長、連携会員、専修大学教授）

主催：日本学術会議
第1部国際協力分科会

問合せ先：aassrecj@gmail.com

またはfax 042-783-2552



参加要領：先着300名様。
問合先に氏名・所属・連絡
先メールアドレスもしくは
fax番号の3項目を記してお
申し込みください。

後援：アジア政経学会、社会政策学会、社会政策関連学会協議会
ジェンダー法学会、女性労働問題研究会、日中社会学会、日本社会学会
日本社会学理論学会、日本文化人類学会、リスクマネジメント学会